



学校だより

ひびき

11月号

昭和54年3月3日制定

令和5年10月31日

横浜市立獅子ヶ谷小学校

横浜子ども会議

児童支援専任 金井 明美

秋も一層深まり、運動会の賑わいが去った校庭には、またいつもの光景が戻ってきています。子どもたちは、無心で走り回れる季節がやってきて、とても嬉しそうです。引き続き、子どもたちが安心・安全に過ごせるよう、全教職員で見守っていきたいと思います。

さて、横浜市では、毎年、『横浜子ども会議』を開催しています。「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～いじめをなくすために、一人ひとりができること～」をテーマに、横浜市の全小中学校で、子どもたちが主体的にいじめ防止のためにできることを話し合い、自分たちの学校でできる取組の計画を立てて、その実践について区単位の交流会で発表し合います。

本校も、代表委員会で話し合ったことをまとめ、代表児童2名が、7月末に上の宮中学校との、オンライン『中学校ブロック区交流会』に参加しました。中学生にリードしてもらいながら、馬場小を交えた3校での話し合いは活発に進み、誰にとっても居心地のよい学校とはどんな学校か、その実現のために何ができるか、どんなことをしているか、などを話し合いました。

本校の児童会のテーマは「心をつなぐ！ししがやっこの花」です。それを受けて、子どもたちは「そだてよう、3つの花キャンペーン」を春から展開しています。3つの花とは、「元気にあいさつの花、たすけあいの花、ゆうきの花」です。いじめを防ぐ、居心地のよい学校にするには、誰にでも挨拶が気持ちよくできる環境が不可欠で、困っている人がいたら声を掛ける勇気をもって、みんなで助け合おうという考えが活動の根拠になっていて、代表児童は、活動の理由やねらい、経過を整理して発表しました。

3校の話し合いで、学校は、楽しみや魅力があり、一人ひとりが尊重される居心地のよい環境であることが大切なので、各学校で、子どもたちが主体的にできる活動を勧めていこうと確認し、中学生と一緒に8月末に鶴見小学校で行われた『横浜子ども会議 区交流会』で発表し、他ブロックと交流しました。

交流会に参加していると、子どもたちが掲げているテーマや話し合っている内容は、私たち大人にとっても大切なことばかりでした。誰にでも挨拶できているか、困っている人に声を掛けられているか、助け合っているか、見て見ぬふりをしていないかなどを考えさせられ、私たち自身が、子どもたちにより手本を示せるようにしていこうと、自らを振り返る機会となりました。

学校は、子どもたちと共に、保護者の皆様、地域の皆様のお力をお借りしながら、本校のいじめ防止基本方針をもとに、いじめの防止に取り組んで参ります。今後とも、ご協力よろしくお願ひいたします。

いじめのことに関わらず、学校に関するご相談がありましたら、担任や学年主任、または、児童支援専任にご連絡ください。育児については、学校カウンセラーの利用をお勧めします。また、区役所の「こども家庭支援課」や中央児童相談所にも育児の相談窓口がありますので、ご家庭で抱え込まず、お気軽にお電話でお問い合わせください。